



悠久会 埼玉支部 会報

新潟大学 工学部 同窓会

(第10号)

発行：悠久会 埼玉支部

発行者：支部長 田島富二夫 (子 43)

編集者：副支部長 大友 眞 (機 52)

発行日：平成20年5月1日

悠久会 埼玉支部 総会(第14回)のご案内

拝啓 新緑の候、支部会員の皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。

ここ数年、埼玉支部は「ふれあいさいたまウォーキング」という“さいたま再発見のぶらり旅”活動を行って参りました。四季折々の里山を巡ったり、街中の歴史を訪ねたりとバラエティに富んでおります。こうした埼玉支部のハツラツさも土台となって、来る2010年の全国総会を、2001年に引き続き、埼玉で開催する運びとなりました。今年から2010年に向けた準備活動を活発化して参ります。会員の皆様のご協力・ご支援を宜しくお願いいたします。

さて平成20年度の悠久会埼玉支部総会を、下記のとおりご案内いたします。当日は、母校・本部ならびに近隣支部から、多数のご来賓をお招きいたします。“蕎麦打ち名人”による講演会や“ライブハウス”の雰囲気を楽しめるミニコンサート等企画しております。

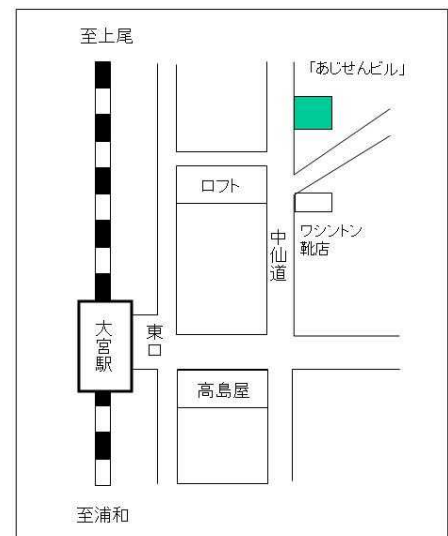
ご多忙とは存じますが、皆様お誘い合わせの上、多数ご参加いただきますようお願いいたします。尚、準備の都合上、5月20日(日)までに到着しますよう、同封の葉書にてご出欠のご連絡を頂きたいと思っております。

敬具

記

- 1、日時 平成20年6月7日(土) 12:00~16:00
- 2、会場 東晶大飯店
住所 さいたま市大宮区宮町2-28 あじせんビル3F
電話 048-644-0881
交通 大宮駅(新幹線・高崎線・宇都宮線・埼京線等)
東口より徒歩5分
- 3、式次第

第 部	総会	12:00~13:30
	母校・本部近況紹介 他	
	講演会(蕎麦打ち秘話)	(13:00~13:30)
第 部	懇親会	13:40~16:00
	安原 道子 コンサート etc.	
- 4、会費 8,000円
(但し、新卒会員の方は無料、...ご招待とさせていただきます。)



尚、返信用葉書にはメールアドレスの欄がありますが、勤務先/ご自宅とも支部からのご案内を差上げて支障の無いアドレスをお書きください。(両方でもかまいません) 返信の宛先は、埼玉支部・副支部長(広報連絡担当) 大友 眞(機52)宛となります。

支部年会費 納入のお願い

埼玉支部の年会費は2,000円です。支部総会の案内や会報の作成・印刷他、連絡費用等に充当します。同封の郵便振替用紙をご利用ください(通常払込料金無料)。健全な支部活動を継続するためにも、支部会員の証としてぜひ納入いただきますようお願いいたします。

大学の教育研究の目指す方向



新潟大学理事・副学長 仙石 正和（電 42）

新潟大学工学部同窓会（悠久会）の埼玉支部の皆様、日頃大変お世話になっておりありがとうございます。ありがとうございます。

本年2月1日から、新潟大学では長谷川彰学長（理学部）の任期満了にともない、下條文武教授（医学部）が新学長に就任いたしました。この新執行部のなかで、理事（研究担当）・副学長を仰せつかりました。もともと浅学非才ですが、全力を尽くす覚悟です。工学部関係では、平成15年4月から平成19年3月まで4年間、工学部長として大変お世話になりました。今後、様々な面でお世話になるとは思いますが、ご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

最近、中央教育審議会から、「教育振興基本計画について」との答申が出されました。この答申を読むと、日本の大学の方向性が分かります。もちろん、この答申はこうあって貰いたいとの案で、どの程度実現するかどうかはこれからです。この答申の要点を述べますと以下の通りです。

- （1） 教育をめぐる課題と社会の変化の動向を踏まえるとき、人づくりこそが個人の幸福の実現と国家・社会の発展の礎であり、我が国の将来の発展の原動力たり得るものは人づくり、すなわち教育をおいて他にない。今こそ我が国は改めて教育立国を宣言したい。
- （2） 今後10年間を通じて目指すべき教育の姿
 - 1） 義務教育修了までに、すべての子どもに、自立して社会で生きていく基礎を育てる。
 - 公教育の質を高め、信頼を確立する。
 - 社会全体で子どもを育てる。
 - 2） 社会を支え、発展させるとともに、国際社会をリードする人材を育てる。
 - 高等学校や大学等における教育の質を保証する。
 - 世界最高水準の教育研究拠点を重点的に形成するとともに、大学等の国際化を推進する。
- （3） 今後10年の目指すべき教育の姿において、大学の役割は、主に（2）の2）の部分（以下概略）

高等学校や大学等における教育の質を保証する。

大学等の個性化・特色化を進め、それぞれの機能に応じた教育研究活動を促す。また、大学等における教育の質の保証・向上に向けた制度を整備・確立する。これらを通じ、教養と専門性を養い、社会の各分野を支え、発展させていく資質・能力を確実に養うことを重視する。

世界最高水準の教育研究拠点を重点的に形成するとともに、大学等の国際化を推進する。

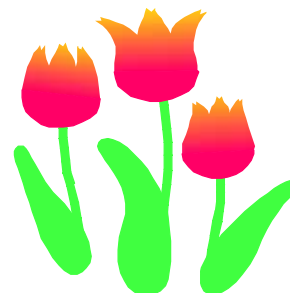
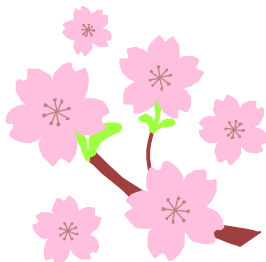
国際的競争力を持ち、世界の英知が結集する教育研究拠点を重点的に形成し、知的な貢献ができる人材を育成するとともに大学の教育研究の高度化を通じて知の創造・継承・発展を支える。また、今後策定する「留学生30万人計画」を推進するとともに、国内外の優れた学生等が相互に行き交う国際的な大学等を実現する。

以上の答申の要約から分かるように、大学には、教育研究の質の向上が求められています。この中で特に教育の質の保証が求められています。大学の教育は優れた研究の裏付けが必要なのが前提ですが、最近は大学院進学者が増えて、大学院での教育には研究指導は必要不可欠です。また、国際的な標準のもとでの競争が必要であることも求めています。日本の大学にとって、高校生が大学を選ばなければ全員が入学できるいわゆる「全入時代」を迎えて、それぞれの大学が個性的な大学として魅力あるものになろうとしています。

下條新学長は、就任挨拶で「新潟大学グローバル・バリュー・ミッション21」を掲げました。これは、21世紀を担う新潟大学の使命として、世界(グローバル)と地域(ローカル)との融合によって、新潟大学を情報源とするコア・バリューを創出し、現代の知識社会の品質向上に貢献しようとの決意です。

新潟大学は、「大規模総合大学」です。この特徴をどのように生かし、ブランド力を高めていくのか、前途は決して容易ではないと思っています。その中で、現在新潟大学では様々な特徴ある活動が進められています。工学部もJABEE受審、教育GP実行など特徴ある優れた活動が行われています。それらの多くの活動は、社会連携、皆様との協働によっており、ご協力を頂いています。

今後も変わらぬご支援をお願い申し上げる次第です。



平成20年度支部総会にあたってのご挨拶

埼玉支部 支部長

田島 富二夫(子43)

初夏の季節、青葉が目映える今日この頃でございますが、皆様におかれましてはご健勝にてご活躍ご研鑽の日々をお送りのことと存じます。

工学部同窓会が発足して80年が経過し、そうした折に全学同窓会が発足して4年が過ぎようとしています。80年の歴史を持つ悠久会は、その先見性をもって全学同窓会の牽引車的役割を果たし、他学部にも先駆けて活発な活動を続けてきております。

何事もそうですが、継続するという事は一つの大きな力となります。80年という長い活動の歴史に学び、新しい大学の環境のもとで新潟大学が一層発展をして行くように努めてまいりたいと考えるものです。

埼玉支部は平成7年に東京支部より分かれて発足し、はや14年となります。初代江森支部長の『同窓会活動は楽しくなくては同窓会ではない』を合言葉にして活動してきました。2001年には全国より大勢の仲間の方々に御参集いただき、埼玉において全国総会を開催致しました。

そして平成16年4月1日より大学が独立法人化となった状況を踏まえて、二代田中支部長の時には首都圏同窓会(現会長精密30年卒大石通明氏)の応援をいただきながら、他学部の方々の参加を得、支部レベルでの全学同窓生を対象にした埼玉支部総会を盛況のうちに開催できました。

その後の同窓会を取り巻く状況の推移は、このことが正しかったことと確信をしています。

可能であるならば毎年全学同窓会的支部総会を開催できたら良いかとも思いますが、各学部の独自性や同窓会の現状等と合わせて考えますと、現在は学部毎の同窓会を発展させて行くことが求められている時ではないかと思えます。

これからも支部の活動は常に全学を視野に入れ、楽しく活動して行くことが基本となると考えます。埼玉支部ではそのような活動の一環として2001年の埼玉全国総会以降、他学部の仲間にも声を掛けて『ふれあいウォーキング』を毎年開催し、3月には22回目のウォーキングを開催致しました。ウォーキングには近隣支部の同窓生の方々も参加をして盛り上がりを見せています。将来的にはウォーキング全国大会といった健康を維持し楽しい交流の場となる全国規模のウォーキングなどの企画も夢ではないかと思えます。

大学を取り巻く環境の中で大変気になるところがあります。将来、日本に道州制が敷かれようとする動きがありますが、いざそうなったときに新潟大学の存在はどうなるのだろうかということです。国立の大学から州立の大学に移行するなどということも十分にあり得ることと思えます。そのためにも新潟大学の学問研究と教育を両立させて立派な大学として発展して行くように、同窓会が大きな役割を果たしていくことが求められていることと考えます。

そのためにもやはり同窓会の役割は『楽しい同窓会、大勢の仲間の皆さんが気軽に参加できる同窓会』であることが基本となるでしょう。大勢の仲間が日本の将来を見据え世界の将来を考え、地球規模で大学のあり方や同窓会のあり方を考えて行くことが求められようとしていると思えます。

同窓生の皆さん、企業の狭い範囲でのセクトに取り込まれるのではなく新潟大学同窓生として胸を張って活動できる同窓会を目指してがんばろうではありませんか。

以上

生涯 剣道

- 剣道指導者として -

埼玉支部 副支部長

蒲谷 繁一（応52）

私は、昭和48年に神奈川県横須賀高校から新潟大学に入学しました。理由は単純で、横須賀高校の剣道部の先輩が新大工学部に進学し、果たせなかったインターハイに代わり全日本学生剣道大会に出場していたからです。私も剣道を志した以上一度は日本武道館で試合をしてみたいと思っていたので、新大工学部に入りたいというよりは、新大剣道部に入って北信越剣道大会で優勝し全日本学生剣道大会に出たいという、大学の先生方から見るとかなり不純な動機を持った新入生でした。その結果、昭和50年に北信越大会団体戦で優勝し、あこがれの武道館で明治大学と対戦できたことで私の希望は叶いました。

さて、卒業後最初に入った東急車輛製造(株)では大阪堺市の工場勤務となり、たまたま会社にあった東急子供剣道部との出会いが今に至る子供剣道との始まりでした。その後、本田技研工業(株)に転職して埼玉に住むようになり、実業団の大会に出場しながら高階剣志会と福原剣友会で稽古を続けて来ました。

今回、悠久会埼玉支部の活動紹介の中に剣道指導者として何か書くように言われましたが、私は特に指導者としての講習を受けているわけでもありませんので、この頃思っていることを述べてみます。

確かに剣道を長くやっており、全日本剣道連盟から六段を頂いているので子供より強いから子供を教えているのですが、最近は教えていると思うよりも、子供に教えてもらっていたと思うようになりました。そう思う様になったのは、剣道は姿勢が良くなると言われますが、「姿勢が良くなる」のではなく、「良い姿勢が剣を強くする」と思うようになったからです。それは子供との稽古で徐々に判ってきました。

子供と稽古をしているときに、私の竹刀を子供の面の正面下部(所謂「突き」の位置)に付けると、子供は私を打ち込んで来ません。そして、その竹刀を少し「突きの位置」から外すと、打ち込んで来ます。すなわち、二人が向かい合って竹刀を構えたとき、一方の竹刀が相手の正面に付くと、他方の竹刀は自然と竹刀の幅(約2cm)だけ相手正面から外れます。子供は、私の竹刀が自分の喉元に向かっていることでなんとなく怖いと感じているのだと思うようになりました。相手にその「怖さ」を感じさせる「幅差」を確保することが「剣の強さ」なのだ判りました。子供の動きからそこに気がつかされたとき、いままでずっと子供から教えられていて、ようやく判ったのです。本当に、感謝！感謝！でした。



但し、姿勢を崩しながら竹刀を「突きの位置」に構えてくる相手には「剣の強さ」を感じません。もちろん、どうすればどんな相手にも「幅差」を確保できる様になるのか判らないので、今はとにかく「姿勢を良くして、無心に相手に対すること」を心がけ、七段に合格する様稽古に励んでいます。試合に勝つことも必要ですが、子供たちには正しい構え(私の理解では、良い姿勢で、無心に相手に対すること)を身に付けてもらい、周りの人に慕われる人間になって欲しいと思いながら、休日になると稽古に出かけています。

今から 役者になれるかな ...

埼玉支部 副支部長

鯨井 和幸 (電 47)

昨年の11月末に浅草公会堂の舞台に立ちました。明治座アカデミー6期の卒業公演です。新国劇定番の「霧の音」を短くしたお芝居で、島田正吾が演じた植物学者の先生役をやらせてもらいました。妻の有る身でありながら若い助手に惚れ込み、研究拠点の山小屋で一緒に生活を始めますが、ある時本妻からの手紙を盗み見て彼女はいなくなります。探しあぐねた10年後その山小屋で再開を果たしますが、彼女は別の男の妻となっていました。芝居の終り近く二人だけが舞台に残ったそのシーン、会場が水を打ったように静かになります。咳一つありません。次にどんな台詞を言うのか...固唾を呑んで見ているお客さんの心の矢が、演じている私達にビシビシと刺さってきます。そして最後のシーン、5年後の再会を約して私は笑って(心で泣いて)山小屋を去りますが、花道に差しかかったあたりからもう拍手が沸いてきました。こういう経験をしてしまったら、もう~やめらんないね~。

明治座は、場貸しの芝居小屋です。それだけではいけないと創業130周年を迎えて始めたのが自前の役者の養成。特徴は40歳以上のシニアクラスがあること。他に中高年を対象としたものでは、蜷川さん(埼玉芸術劇場)のゴールドシアターがあるだけです。その明治座の俳優養成所(アカデミー)シニアクラスで、1年半役者になるための勉強をしました。

何で? - と自分でも思うのですが、ソニーを早期退職したとき女房からその紹介新聞記事を見せられても、まだ即断する勇気はありませんでした。しばらくブラブラした後、技術拠点が長岡にある本社埼玉の精密部品メーカーに再就職するのですが、学生時代をすごした長岡に再度単身赴任したことがきっかけかもしれません。実は昔、長岡には市の教育委員会にFM教育放送局がありました(全国で唯一、米百表の精神がまだ生きていたのですね)。長岡市の小・中学校で学んだ人なら必ず教室で聞いたことが有るはず。放送局があれば番組を作るスタッフが必要なわけで、アマチュアの放送劇団があって、私も女房もその団員だったのです(学生で団員になったのは私ひとりだけのはず)。長岡には今でも当時の仲間が大勢います。何十年振りかに彼らとゆっくり語り合い会ってムラムラ起こるものがあったのかな~。

さて卒業して、明治座のプロダクション部門に所属する役者(一応プロ?)になったのですが、なかなか仕事には巡り会えません。名指しで出演依頼があるのは、相当売れてからのことで、我々クラスは全てオーディションからです。このところ落ちっぱなしです。演技はうまくやれたつもり

でも、いわく年齢が...とか、身長が...とか、ああ~、仕事が欲しい。

最後に宣伝ですが、今年夏公開の東映映画「クライマーズハイ」をご覧ください。チョコッとですが、映っているはず。 (撮影だけは、相当撮られました...)



〔写真: 明治座卒業公演「めぐり逢い」3場より〕

「ふれあい・さいたまウォーキング」活動報告

埼玉支部 副支部長
出井 道夫 (機 52)

恒例になりました埼玉支部のイベント「ふれあいウォーキング」の活動を報告致します。
平成19年度は、4回のウォーキングを行いました。他支部だけでなく他の学部の同窓生も参加されています。

第19回 入間(加治)丘陵の森林浴と茶畑を訪ねる旅

期日：平成19年6月9日

梅雨のはしりで小雨に降られましたが、参加者10名で森林ウォークを楽しみました。入間市は日本三大銘茶の一つ狭山茶の産地ですが、加治丘陵と呼ばれる武蔵野の自然も残っています。加治丘陵の中央に展望台があります。そこからは、南には一面に広がる茶畑が、また西・北には奥多摩・秩父・奥武蔵の山々が一望できました。

茶畑の中を歩き、最後にお茶の博物館を訪ねました。



第20回 都心のオアシス 石神井公園を訪ねる旅

期日：平成19年9月8日

第20回は節目の記念として東京支部の協力を得て、東京・埼玉合同ウォーキングとして行いました。東京支部に敬意を表し、都内の石神井公園を訪ねました。台風が関東を直撃した翌日で、猛暑でしたが、過去最多18名になりました。

石神井公園は都心のオアシスの名の通り、深い緑と豊かな水に包まれ、都会の喧噪を忘れさせてくれる自然公園です。周囲は史跡も多く、この地が栄えていたことが偲ばれました。



第21回 秩父ミュージックパークを訪ねる旅

期日：平成19年11月17日

晩秋の秩父を10名で歩きました。ミュージックパークは秩父を流れる荒川の対岸の長尾根(丘陵地帯)に作られた公園です。いろいろな施設が整っており遊歩道も整備されています。

秩父神社では、初々しい結婚式にお目にかかれました。ミュージックパークでは赤く色づいた紅葉や寒桜が楽しめました。展望台からは秩父市街や武甲山が一望でき、酒蔵資料館では地元のワインや日本酒の試飲ができ、冷えてきた体にはもってこいでした。



第22回 醤油のふるさとを訪ねる旅

期日：平成20年3月8日

醤油発祥の地、野田を早春に歩きました。千葉支部からの参加もあり、総勢18名になりました。また、今回は地元のボランティア「野田ガイドの会」の方に、コースの案内をしていただくことができました。

野田は醤油の町、それもキッコマンとともに発展してきた町であり、醤油工場の見学や、水運に恵まれて発展したことなどを知り、野田に十分ふれあうことができました。



埼玉支部では今後も季節毎に、「ふれあいウォーキング」を計画します。興味のある方・参加希望される方には、案内をEメールでお送りしますので、お気軽に下記アドレスにご連絡下さい。県外支部や他学部からの参加も大歓迎です。同窓生と気楽に歩いてみませんか。次回の案内は次のページを参照ください。

渡辺(化40): watanaky@yahoo.co.jp 又は、出井(機52): kwgid@pop.kcv-net.ne.jp

今年度の悠久会・全国総会は、『なにわ友あれ大阪(なにわ)総会』です。

6月21日(土) ホテルグランピア大阪

午後3時15分～講演会、午後4時30分～全国総会、午後6時～懇親会

詳しくは「時報 第113号」、「悠久会ホームページ」<http://www.yukyukai.net/>をご覧ください。

今年は「悠久会 会員名簿」発行年です。

前回あたりから、冊子版の名簿が発行されなくなりました。

印刷費が膨大な金額になってきたことと、個人情報の漏出を少しでも防ごうと言うことですが、代わりとなるCD-ROM版は、申し込まないと送られてきません。

「時報 第113号」に申込書が同封されていたので、入手したい方は返信をお忘れなく。

(全学)首都圏同窓会では、毎月第2水曜日に定例の有志懇親会を行なっています。

新潟大学の卒業生であれば、学部・卒年を問わず誰でも参加でき、午後6時半頃から三々五々集まり、午後8時半頃用事のある人から抜けていく、そんな自由な集まりだそうです。第2水曜日に集まるから『二水会』、お店に入ったら『二水会』と告げていただければ案内してくれるそうです。「鍋茶屋」03-3232-1111 新宿区歌舞伎町2-45-4

西武新宿駅脇の道を線路に沿って新大久保方向へ徒歩3分 右側(歌舞伎町側)
(参加費：5千5百円)詳しくは、大石会長(精30)へお問い合わせください。
電子メールアドレス：ooishi@h3.dion.ne.jp

お忙しい中、原稿を寄せていただきました仙石副学長、ありがとうございました。
さらなるご活躍を、埼玉支部一同、ご祈念申し上げます。

第23回ふれあいたまウォーキングのご案内

「狭山の二つの公園を巡る旅」で、狭山市の稲荷山公園と智光山公園を訪ねます。

日にち：5月24日(土)

集合：西武池袋線 稲荷山公園駅 11:00

参加希望される方には、詳細な案内をお送りしますので、下記アドレスにご連絡下さい。

渡辺(化40)：watanaky@yahoo.co.jp / 出井(機52)：kwgid@pop.kcv-net.ne.jp

2010年全国総会(埼玉支部担当)について

冒頭でも触れましたが、2010年の全国総会を埼玉支部担当で開催します。昨年より「呼称・日程・開催場所・イベントetc.」の企画検討を役員会で開始しました。

呼称(案)：ふれあいたま全国総会

日程(案)：2010年7月17日(土)～18日(日)

場所とイベント内容に付いては、現場確認も含めて今後突っ込んだ調査・検討を行います。

右の写真は、役員会風景です。こんな顔振れでやっていますので、支部会員の皆様の企画への参加を是非お願い致します。お知り合いの役員までお声掛けください。



6月7日(土) AM12:00 「東晶大飯店」で、お待ちしております。